

# CENTRAL PRESS

## CONTENTS

- P2 コロナに負けるな
- P3 中①&中②地区会員紹介
- P4 中①&中②例会報告
- P5 中③④&中⑨例会報告
- P6 青年部会&ほっと一息
- P7 新会員オリエンテーション開催  
支部理事会報告

2019.9.20

<https://www.hiroshima.doyu.jp/>

vol.160

**Human First!**

～一人じゃない。心を一つに、  
知恵を寄せ合い、この難局を全員で乗り切ろう～

## コロナに負けるな！広島同友会中支部 その2



コロナに負けるな！広島同友会中支部シリーズの2回目ということで、今回は同友太郎（仮名）さんに、4月に経営の大ダメージを受けたとき誰に相談し、どのように行動されたかをお聞きいたします。



匿名でお願いしますね。サービス業です。僕が新型コロナウイルスの影響を感じ始めたのは3月から。このままではやばいなあと、3月19日に広島市中小企業支援センターの窓口相談、4月からは経営支援ということで経営支援コンサルタントを派遣してもらっています。（注1）有名なコメディアンが亡くなったとたんに客足が激減しました。4月10日に顧問税理士からの紹介で日本政策金融公庫に融資を依頼、広島同友会と地域協定を締結している広島信用金庫にもセーフティネットを使った融資をお願いしました。



なるほど、行政や金融機関など迅速に動かれて相談されているんですね。



同友会事務局や、地区会の会員さんとの交流からいろいろ情報を教えてもらいましたね。特に3月25日に経営労働委員会からリリースされた「経営者が今すぐすべき4つのこと」（注2）は、わかりやすかったし、非常に勇気づけられたよ。



4月16日に私たち地区会の同業者で集まりましたよね。最悪なケースを想定し打つ手を確認しながら、「命だけは大切にしようね」と泣きながら励ましあったのが忘れられないわ。



そうそう、って、泣いていたのは村井さんだけじゃけん。それから給付金や補助金などの手続きの確認や情報交換したよね。自社が今どんな支援が受けられるのかがわからないので、事務局に確認してみたりもした。コロナ禍の渦中になると、経営者だってパニックになって、自社に今何が必要なかわからなくなることを体感したよ。



「コロナ禍の課題・悩みを相談する相手」（調査期間 200417～200514）という中同協のアンケート項目では、同友会仲間（92.3%）、従業員（61.5%）、税理士などの専門家（57.7%）、金融機関（46.2%）、同友会事務局（38.5%）、支援機関・行政機関（19.2%）などがあげられてました。



ふうん。いずれにしろ「ひとりで悩まない」ってことが大切なんじゃないかな。



あら、このインタビューをきれいにまとめていただきました！

（次号に続く）

注1：中小企業診断士、社会保険労務士、税理士等の専門家を派遣し、ニーズに即した助言を行います（新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者は、5回まで無料）1回2時間程度。

注2：「経営者が今すぐすべき4つのこと」<https://youtu.be/Z9LLyvmEkVM>

■会員紹介コーナー

(有) シーピーシー 代表取締役 原田 修治 (はらだ しゅうじ) 氏 (中①)

今回は (有) シーピーシーの代表取締役 原田 修治さんにお話を伺いました。

原田さんが作成されて、中①地区例会で参加者全員にプレゼントされた「フェイスシールド」に興味を持ったのが、取材をさせて頂こうと思ったきっかけです。

取材に伺った時には、改良された第2作目(写真参照。目の部分が空いているのが特徴です。)が完成しており、さらにはメガネ専用の第3作目も製作中でした。

コロナ禍で飲食店の売上が激減する中、テイクアウトだけでなくお店に行ける環境を作りたいと考え、「マ



スクを外しても安心して食べられる」「飛沫が飛びにくいもの」を提供したいという趣旨でフェイスシールドを作成されたとのことでした。

原田さんは、名刺・シー

ル等の印刷物のほか、家系図絵巻にも取り組んでいらっしゃいます。何事も「商売が先ではなく、自分ができる範囲のことで、相手が喜ぶものを」という想いを持って行動をされているとのことでした。

私も新しいことにチャレンジする時には、常にこの想いを

持って取り組んでいこうと思います。

※ご購入希望の方は、下記アドレスをご覧ください。

<http://www.p-hyakkaten.com/face-page.htm>



文：(株) CFパートナーズ 峠本 正喜

■会員紹介コーナー

(株) デイ・バイ・デイ 代表取締役 岡本 耕司 (おかもと こうじ) 氏 (中②)



岡本氏は袋町・大手町を中心に飲食店3店舗を運営されています。このうち、シエル(広島中区大手町2-1-12)がこの8月21日にリニューアルオープンしました。

リニューアルのきっかけは今年3月からのコロナ禍。テイクアウトなど様々な対策を打ってみたもののそのままやっても生き残れないという思いが強くなる一方だったからだそうです。

そんな中、求人募集をしたところ、「コロナ禍で生

き残るため独創的に、お客様に楽しんでもらえ、差別化を図れる」店づくりへの想いを共有してもらえ方に入って頂けたそうです。そこで一度店を閉めて、ゼロから新たな気持ちでスタートしよう、という思いで一致し、この度のリニューアルオープンに繋がったとのことでした。

お店の売りは何と言ってもカジュアルに楽しめるフレンチ。イチオシはフレンチスタイルサンドイッチです。尾道のパン屋航路様とのご縁でコラボに至ったそうです。今後は通販にも力を入れたいとのこと。今後のますますのご活躍が楽しみです。



文：勁草法律事務所

片島 由賀

## ■中①地区例会報告

開催日：2020年8月21日

### Zoom 近況報告会

報告者：(株) 東洋ビジネス 代表取締役 藤本 隆志 (ふじもとたかし) 氏

8月21日に中①地区の8月例会を開催いたしました。コロナの再拡大を考慮して例会内容を大幅に変更しての開催となりました。

当初、中①地区会員のゴールドスター 金澤氏の焼き鳥店で飲食業の現状と独自の対策をお話ししていた内容でしたが、Zoomでの近況報告となりました。

日時を変更しての開催となり参加者は7名と寂しい状況となりましたが、オフラインで接する機会が減ったためか、私なりに楽しむことができました。

近況報告では概ねコロナの影響を受けている会社は少なく、逆に忙しくなったとお話する方もいました。その方達はやはり、独自の付加価値を自社で持っているので影響が少なく済んだのだろうと感じました。しかしながら経済は全て繋がっていますので今は良くとも今後2年間は気を抜けない時代になると感じました。

コロナのおかげで気づかなかった時間の作り方ができる今、今後のビジョンを作らなくてはならないと感じ



じました。

これで中①地区8月例会の報告を終わります。

文：(株) 東洋ビジネス 藤本 隆志

## ■中②地区例会報告

開催日：2020年8月20日

### コロナ禍で昨対比〇〇%ダウン…我々こうして頑張っています ～今だからこそ本音で語り合い助け合いながら前へ進もう！！～

8月20日に中②地区会として2020年度初の例会を開催致しました。中②地区会は今年の2月の家族例会以降、例会は延期となり字室会長就任後の初の開催となりました。

今回の御報告者の方は、己斐製氷(株)の兼品氏、(株)デイ・バイ・デイの岡本氏、(株)エムシーエスの三原氏、(株)C&Eコーポレーションの名越氏、ITplusの川口氏、(株)ナカオカの中岡氏、の6名の方に御報告頂きました。

今回の報告者の方は、コロナの影響を受け、売上の前年比や借入金額など赤裸々に御報告頂き、その中でも独自の発想を持ち、新規事業の立上など、常に前向きな考え方を持って仕事に取り組まれている事なども御報告いただ



きました。

中②地区会の8月例会は、事務局とZOOMでのハイブリッド例会で開催致しましたが、途中、画面トラブル等もあり、今後の課題も沢山ありましたが、今後の例会の取組み方などに関しても考えさせられる素晴らしい例会になったのではないかなと思います。

文：株式会社 京和 大垣裕輔

### ■中③④地区例会報告

## 8月例会中止のお知らせ ならびに 9月例会のご案内

中③④地区の8月例会は、恒例の宮島一泊例会の規模を縮小し「ソーシャルディスタンスを保ち密を避けても心は密に！夏の屋外例会！」と題して三密を避けながらも、こんな時だからこそ会員間の親睦を深めコミュニケーションを図る屋外例会とBBQ懇親会を企画していました。しかしながら、8月に入り全国的にコロナ第2波の可能性とも言われた感染者数増加に見舞われ、地区会でも慎重に検討した結果、8月例会を中止する決断を致しました。来年は宮島で地区会員の皆さんの笑顔が見れますように！！

9月例会は新会員でもあるSGエンジニアリング株式会社 取締役 大西奈々さんの体験報告例会です。もともとはピアニストとして活躍しておられたのですが、父の会社に自らの意思で入社。事業内容は現社長（実父）が開発し特許を持つ、老朽化した既存構造物を修復し健全化させる「IPH工法」の販売・工法の普及を手掛けています。

そんな彼女が社内の改革を目指し、奮闘し、社内の

雰囲気劇的に改善、それは社員の笑顔を守るため…人生の全てがアンサンブルとはどういう事か非常に興味深い報告です。

文：平井プロセス印刷（株） 平井 暁



### ■中⑨地区例会報告

開催日：2020年8月19日

## コロナ禍をどう過ごしたか ～緊急時に備えた対策～

報告者：大下 智昭（おおしたともあき）氏、水野 大（みずのまさる）氏、講師：広島信用金庫 原野 和幸（はらのかずゆき）氏

8月19日に中支部8月例会をZoomにて開催しました。

中⑨地区会員28名オブザーバー2名、合計30名の方に出席いただきました。

報告者は、コロナの影響を大きく受けた飲食業、その会社を支えるために奔走された社労士と金融機関の3名の方に報告していただきました。

飲食業であるボクデンの大下さんは、値下げはせずブランドイメージを守る。テイクアウトに一工夫を加え

ることで差別化！（500円割引券の発行等）コロナにより一旦は客数も減りましたが、この一工夫により戻りは早かった。

大下さんは「予想以上にお客さんの戻りが早かった、お客さんに支えられていることを実感している」と語るように普段の経営努力こそが緊急時に大きな力になるのではないのでしょうか。

グループ討論では、ブレイクアウトルームを使用して「コロナ禍において工夫したこと、改善したこと」を討論していただき、コロナにどう対処して、どんな対策をとって経営しているかを共有しました。

苦境に立たされた時こそ普段の努力・取り組みが大事であるということを再確認するとともに、今の時代にあった新しいことへのチャレンジも必要であるのだと強く感じました。



文：(有)渺 山根 鉄平

■青年部例会報告

## 新型コロナウイルス感染対策のため中止

オリエンタルホテル広島にて、中支部青年部納涼例会&卒業式を予定しておりましたが新型コロナウイルス感染対策のため、8月例会は中止となりました。

### ほっと一息 ええねえ・・・

## 「ワークライフシナジー」で女性が輝く社会に

キャリアフォーカス 代表 棚多 里美 (たなださとみ) 氏 (中③④)

広島県庁に入庁し、20代で出産、30代で子育てをし、40代で係長になり、50代で管理職を経験した棚多さん。「女性が夢や希望をあきらめない社会にした

れています。

そんな棚多さんは忙しい中でも歌のレッスンに夢中だそうです。素敵な歌声を是非聴いてみたいですね。

い。女性が自分の人生を自分で決めて能力発揮してほしい」という思いが溢れていました。

子供の頃から女性の経済的自立を強く意識していたとのこと。そのような思いもあって就職先は県庁を選び、まだまだ少ない女性幹部として地域ケア部長や働く女性・子育て支援部長を歴任されました。実は広島県湯崎知事の育休取得も棚多さんが仕掛けたそうです。

現在はアンガーマネジメント、キャリアアップ、ワークライフシナジーの3つの視点を融合させた棚多さん独自のコンサルティングメソッドで、女性の社会進出をサポートさ



企業プロフィール

キャリアフォーカス

広島市中区広瀬北町 3-11

和光広瀬ビル

ソアラビジネスサポート 424

文：(株) デイ・デイト

田中 雅也



去る8月7日、同友会事務局で、本年度第1回目の新会員オリエンテーションを開催し、新会員8名が入会手続きを完了しました。

オリエンテーションでは、村井支部長が会会挨拶。「厳しい情勢だからこそ、共に手を携えて、企業を守り、育てて行こう。一人で悩まず、仲間と語り合うことが大事です」と呼びかけました。

オリエンテーションビデオを見たのち、各委員会、部会、地区会から、活動内容などを詳しく説明しました。

最後に、同友会バッジの贈呈を行いました。いつも

なら、直接服につける  
ところ、コロナ対応として、バッジを手渡すだけになったのは残念でした。

また、終了後の懇親会も取りやめとなりましたが、予定会場に配慮して、お弁当またはオードブルを届けていただき、各自がご自宅で楽しんでいただくことにしました。

運営上の課題もいくつかありましたが、コロナの影響で開催がのびのびとなっていたオリエンテーションが行えたことは、成果と言えるでしょう。



## 2020年8月 中支部理事会のご報告

- 日時：8月26日
- 会場：事務局 & Zoom
- 参加者数：23名 / 23名 及び事務局
- 県関係より

財政部から、地区会活動費の見直しについて各支部の意見が聞きたいとの要望がありました。9月の各地区役員会で意見交換し、それを正副支部長でまとめた上、意見を伝えることとしました。

- 入退会…ありません。会員数は357名です。
- 「同友ベストプロ」の発足

会員が専門家のアドバイスを受けやすいように、会員の専門家の皆さんに協力をお願いし、得意分野を明確にしたリストアップを行うこととなりました。地域

内連携推進委員会が担当しています。

- 「木曜日はテイクアウトデー」の広がり

中支部活性化委員会発のテイクアウト運動は、広島エリアの他支部の協力が得られることとなりました。8月の発送では広島エリア全体に、9月発送からエリア全体の動きになります。あわせて、緊急の表紙デザイン費用の予備費からの執行を承認しました。

- 予算執行状況

地区会活動費前期分を7月に振り込みました。特段の問題はありません。

- 仲間づくり活動について

支部例会を大いに活用することを申し合わせました。

(文責：事務局 橋本)

### ● 2020年8月末の各地区会データ

	中①	中②	中③④	中⑤
会員数	27人	106人	110人	104人
e.doyu ログイン数	18人	39人	43人	44人
例会参加数	7人	28人	-人	28人
例会オブザーバー数	0人	0人	-人	0人
入会者数	0人	1人	2人	3人



広島県中小企業家同友会 広島中支部発行  
 広島市中区中町8-18広島クリスタルプラザ8F  
 TEL.082-241-6006 FAX.082-241-6007  
 HP <https://www.hiroshima.doyu.jp/>  
 e.doyu <https://hiroshima.e-doyu.jp/>  
 発行責任者：原田 修治 広報委員長：毛利 武雄